

# 一般質問

議員は、市長などに対して、市の事務の状況や将来の方針などを質問することができます。

この質問を「市政に関する一般質問」といいます。今定例会では、21人の議員が一般質問をしました。その状況について、ご紹介いたします。

## 発達障害児の保護者に向けた事業

阿部 洋子 議員

**問** 県内の各児童相談所では、ペアレント・トレーニング(※)として、軽度発達障害児を持つ保護者向けのグループ指導を行っている。障害のあるお子さんを抱え遠方に行かなくても、市のことも発達センターでペアレント・トレーニングができないか。

**健康福祉部長** 市の職員に専門員がいるので、子ども発達センターを活用した形で準備を進めている。

**問** ペアレント・メンター(※)は県の事業であるが、子ども発達センターを個別相談等の拠点として活用できないか。

**答** 県のほうでもペアレント・メンターを養成している段階。今のスタッフで県が行っているところまでは無理だと思うので、県が行っている養成講座等の啓発を引き続き行いたい。

**問** 市の障害者団体はネットワーク組織も充実している。今後の展開として何か考えられることはないか。

**障害福祉課長** ペアレント・メンターのインストラクター養成研修に職員を派遣した。先進地の事例を研究しながら、子ども発達セ

ンターが使えるかどうか検討したい。

※ペアレント・トレーニング：自閉症、ADHD(注意欠如・多動性障害)など発達障害の子どもを持つ保護者などが、子どもの正しいつけ方を身につけるためのトレーニング。

※ペアレント・メンター：発達障害の子どもを育てた経験などを持つ、保護者の相談相手となる人のこと。

## 市の除染状況は？

平 由子 議員

**問** アメリカでは廃炉が進んでいる。汚染は単に遠ければ少ないということではなく、地表、地形、地層に大きく左右される。放射能の被害防止の観点から言えば、リアルタイムで公開しなければ意味がない。

**答** 当市はホットスポットと言われている。除染は滞りなく行われているか、どのように行われているか、優先順位はどうなっているか。

**市長** 子どもたちが安心して生活できる環境の確保が最重要と考え、関連する施設を優先して実施している。

小中学校の除染作業は、改築工事中の永山小学校を除き25校が終了。保育所、保育園、幼稚園は28施設中25施設が終了し、1施設は

調査の結果、除染不要。白山保育所と白山保育園は園庭が終了し、一部基準値以上の部分は現在作業を進めている。公園は54施設が終了し、101施設は調査の結果、除染不要。残る84施設は今年度終了予定。公共施設、集会所は平成24年度に終了。住宅地は、調査及び除染作業を早急に発注し進めたい。

ホットスポット対策は、環境省の除染ガイドラインに従い、国の補助事業で各施設の除染作業を実施している。今後、実施予定の住宅地も同様に進めたい。

## 姥島 土地区画整理事業

佐藤 清 議員

**問** 合併後の経過について。都市整備部長 スムーズに事業の目的が達成できるように支援、助言をしてきた。

**問** 残事業は、どのようなものか。

**答** ほとんど保留地の処分に関わるものである。

**問** 区画整理組合は保留地の処分を、どのような方法で進めているのか。

**答** 不動産会社に個別販売を委託する方法、また一括で買い入れてくれるところを模索している状況。

**問** 約0.9ヘクタールある保留地の処分の見通しは。



姥島(フラワータウン)土地区画整理事業地内(藤代・小浮気)

**答** 平成27年3月で最終する事業計画になっている。一刻も早く処分できるように行政としても助言していきたい。

**問** 事業の整理には、借入金額を下げる、また免除の手続きをするような話があるが、スケジュールはどうなっているか。

**答** 金融機関と債権放棄を視野に入れた協議に着手しているという。

**問** 区画整理組合の体制は。

**答** 組合事務局は、コンサルタントに委託している。

## 子育て支援の充実を！

石井 めぐみ 議員

**問** これまで進めてきた子育て支援政策について。

**市長** 公立保育所・民間保育園の延長保育事業を実施。民間保育園での休日保育や病後児保育を実施。また、

市内4カ所に子育て支援センターを設置し、保育園6カ所で一時保育を実施。さらに風疹など予防接種の助成を実施。特筆すべきことは、子育てを応援するウェブサイト「ママフレ」を開始した。若い世代がアクセスしやすくなっている。

**問** 地方版子ども・子育て会議の設置について、市が最終的に目指すことは。

**健康福祉部長** 来年度早い時期に取手市版子ども・子育ての計画を策定したい。目標は、児童福祉審議会の意見の中で決まってくる。

**問** 母子健康手帳を発行する際、妊婦チケット等の必要な内容を説明すべきでは。健康福祉部次長 初めての妊婦の方は非常に不安が多いと思うので、保健師が訪問や相談に応じている。

**問** 妊婦健康診査の公費負担の回数を市独自の制度として、14回以上の無料化を検討してはどうか。

**健康福祉部長** 医師会とも協議し検討したい。

**問** 病後児保育を行っていることを知らない方が多いと思う。周知の方法は。

**子育て支援課長** パンフレットを保育園に置いて周知。今後も広報をしていきたい。

**問** 病児保育の導入を。

**健康福祉部長** 医師会の意見をいただき、進める方向で検討したい。